

VOICE

## 修了生インタビュー

Q

1 ポリテクセンター名古屋港に入ろうと思ったキッカケを教えてください

港湾企業に興味があり、就職に役立つ実践的な知識や技能を学びたい、フォークリフト・クレーンなどの資格取得や物流機械の操作技術を身に付けたいと考え、物流機械運転科を受講しました。以前のバイト仲間が高校を出てすぐポリテクに入り、普通よりいい給与がもらえる港湾企業に就職したと聞きました。5年弱頑張った仕事を辞めた時にそのバイト仲間の話を思い出し、次につなげるためにもポリテクに入るのが一番いい選択だと思いました。

Q

2 現在の仕事の内容を教えてください

海上コンテナの荷下ろしです。名古屋ユナイテッドコンテナターミナル（NUCT）内でテナークレーン（実機・遠隔）、トップリフトによる海上コンテナの港湾荷役業務に従事しています。



Q

3 ポリテクセンターで学んだことで、今の仕事内容に役立っていることは何ですか

クレーン・フォークリフトの操作技術・安全作業に関する知識が役に立っています。物流の流れ、荷役作業の基本を学べたこともとても役に立っています。

Q

4 伊藤さんがこちらに入社しようと決めた理由を教えてください

ポリテクセンターで取得した資格を活かせる大型荷役機器のオペレーターとして働きたかったからです。面接を通じて港湾物流を支える重要な仕事であることに魅力を感じ、就職を決めました。



コンテナをピタッと合わせられるようになった！



## 東海協和株式会社

## 伊藤 陵さん

物流機械運転科

令和5年1月入所

令和5年6月修了（6カ月訓練）

令和5年7月入社



チャームポイントは笑顔！！

Q

5 仕事をしていて楽しかったことや大変だったことはありますか

楽しかったことは、大型荷役機器を安全に操作し、船の荷役作業を予定通り終われたときです。天候の影響を受けることや夜勤業務は大変ですが、安全に注意し、協力して作業をやり遂げた時には達成感があります。トップリフトの操作も以前はハンドルをこねくり回してやっていたのが、自分の思い通りに操作できるようになった時はうれしかった！

辛かったことは、トップリフトの研修が規定の時間より大幅にかかってしまい、まわりに迷惑をかけてしまったことです。複数の会社が集まって作業をするNUCTでは、自社の代表として作業するため、安全基準が特に厳しくなっています。リフトのセンスの有無によりすぐ乗れてしまう人もいます。しかし自分はいっぱいやって体で覚えるタイプ。体感していないと分からない上に、仕事のやり方を同時に覚え、さらに安全にも気を付けなくてはと苦勞しました。「なぜここに来ちゃったのか」と思ってしまった時もありました。ポリテクを修了できたのですぐにやめるわけにはいかないと、食らいつきました。あきらめなくて良かったです。周りの人たちに感謝です。

Q

6 将来の目標を教えてください

港湾荷役に関する知識・技術をさらに向上させ、後輩の指導や育成にも携われるオペレーターを目指します。そして何よりも安全第一を徹底しながら信頼される作業員になりたいです。また、安全意識を後輩に引き継いでいきたいです。

Q

7 これからポリテクセンターに入ろうとしている方たちにメッセージをお願いします

自分は未経験から港湾業界に挑戦しました。ポリテクで基礎から学び、今では港で大型荷役機器を操作し、日本の物流を支える仕事に携わっています。ポリテクは資格取得や就職活動のサポートも充実しています。新しい仕事に挑戦したい方、次の仕事について悩んでいる方にはぜひお勧めしたいです。自分はあの時挑戦して良かったです！